



【グラフィティ・アーティストによる横浜美術大学での校舎壁面の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 11 月 17 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

フランクフルトのグラフィティ・アーティスト、ベッカーさんの作品が完成しました

11月5日に横浜美術大学にて、フランクフルト市とのパートナー都市協定の一環として、フランクフルト在住のグラフィティ・アーティスト ユスツス・ベッカーさんをお招きし、横浜美術大学の学生とのワークショップ、及び、校舎壁面での作品制作公開パフォーマンスを開催しました。



午前中は、学生中心にスプレー缶を使ったワークショップを開催し、夢などをテーマに作品を完成させました。



午後は、校舎壁画を完成させました。60名近く集まった観客は魅了されました。

ドイツ・フランクフルト事務所の現地スタッフが来浜しました

横浜市フランクフルト事務所で勤務している現地スタッフのホルダツキさんが横浜を訪問しました。



市内各所を視察するとともに、三溪園での茶道体験や市内ドイツ企業でのヒアリングなど、精力的に活動しました。また、11月5日に開催された横浜美術大学でのグラフィティ・アーティストによるイベントのサポートも行いました。



多くの横浜らしさに触れた今回の経験を、今後のヨーロッパで横浜PRに生かしていきます。

2018年 横浜・上海友好都市連携 45周年に向けて意見交換を行いました

11月7日から9日にかけて、関山国際局長が上海市を訪問しました。

2018年に横浜・上海友好都市提携45周年迎えるにあたり、上海市人民政府外事弁公室ならびに対外友好協会等と周年事業の展開や今後の交流について、意見交換を行いました。



また、横浜産業倶楽部企業交流会 [IDEC 上海事務所 30周年記念] に参加し、上海事務所を30年間支えてくださった方々への御礼を申し上げ、今後も引き続きのご支援をお願いしました。